

2017年9月6日

各位

アジア技術サポートラボラトリーを開設
～特殊ゴムの成長市場にソリューション提供へ～

日本ゼオン株式会社

ゼオンアジア（社長：大沢二郎）は、シンガポールにアジア技術サポートラボラトリー（ATSL）を開設しました。成長著しいASEAN・インド域の特殊ゴム市場をカバーする技術サービスの拠点となります。

パワートレインの電動化が進む先進諸国と比べて、ASEAN・インド域は引き続き内燃機関が主流であり続けるとともに、自動車生産台数は大きく増加していくと予想されます。

当社の特殊ゴムはタイミングベルトや耐油ホース、オイルシール、ガスケットなど内燃機関に搭載される多くの部品に使用されるため、急成長するASEAN・インド市場に対応した事業戦略の強化が求められています。

このたびシンガポール・サイエンスパーク内に開設したATSL = Asia Technical Support Laboratoryは、日本・欧州・中国に続く第4の技術サポート拠点となります。依頼試験への対応や需要家への配合提案に留まらず、現地に密着して顧客価値を高める様々なソリューションを提供するものです。

先進市場とは異なる地域の特性に対応し、潜在需要にかなった技術支援や指導を行うことによって当社グループの存在感を高めるとともに、拡大需要を取り込みながら域内のゴム加工産業の質の向上と発展に貢献していきます。

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 CSR 統括部門 広報室

電話：03-3216-2747

